

## 「アクティブ・フォーラム」に参加しました。

8月5日（金）、産業能率大学自由が丘キャンパス（東京都世田谷区等々力6-39-15）で開催された「SANN0 Active Forum（第10回キャリア教育推進フォーラム）」に参加しました。テーマは「その先のアクティブラーニングへ ～アクティブラーニングが果たすべき役割はなにか～」でした。全国各地から約350名のアクティブラーナー（能動的学習者）が集結したという感じでした。茨城県の公立校からは5名参加。内3名は並木中等（私・松本先生・福岡先生）、他は土浦一高と古河二高の女性の先生でした。

午前中は、有名な「ドリカムプラン」の開発者である和田美千代先生（福岡県教育センター教育指導部長）によるパワフルな講演でした。「授業の数だけALがある」「最初は5分から」「やり続けるうちに覚醒する」「まずは教師自身がアクティブラーナーに」「職場もAL化」「インプットを再構成しアウトプットする」と知識が定着し、学力が向上する」というような話があり、私にはたいへん納得できる内容でした。

午後は、7つの分科会に分かれて、2時間のAL型体験授業でした。私は、地学と日本史に出ました。地学は、京都市立堀川高校の飯澤先生（教務主任）に教わりました。

最後に、パネルディスカッションがありました。4名のパネラーの中に、「ALの理論家」溝上慎一教授（京都大学高等教育研究開発推進センター）と「ALの伝道師」小林昭文教授（産業能率大学）がいました。これからのALについて、熱い議論があり、たいへん楽しかったです。コーディネーターの皆川雅樹准教授（産業能率大学）を含め、3人とは親しくお話できるようになりました。今回は、溝上先生の名著『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』にサインをしていただきました。

去る8月1日、中央教育審議会から「次期学習指導要領に向けた審議のまとめ（案）」が公表されました。これからますます「アクティブ・ラーニング」が各高校に導入されます。私は、未来の教育のため、ALを広める努力を続けていきたいと考えています。

